

「生命のがん教育」を実施しました

(平成 26 年度 1 学期分)

平成 26 年度 1 学期は 13 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



◎小学校 (4 校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
5 月 17 日	亀岡市立詳徳小学校	6	公立南丹病院 副院長 上田 祐二
6 月 30 日	亀岡市立西別院小学校	5, 6	京都府健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
7 月 8 日	福知山市立惇明小学校	6	京都府健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
7 月 10 日	京都府相楽東部広域連立南山城小学校	5, 6	京都府山城南保健所 所長 飯田 貴弥
7 月 14 日	長岡京市立長岡第八小学校	6	京都府健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
7 月 15 日	京丹波町立竹野小学校	5, 6	京都府健康対策課 医務主幹 堅田 和弘

<児童の感想>

- ◇ がんは自分で予防できるところが多いから、気をつけていこうと思いました。2 人に 1 人ががんになるので、他人事ではないことが分かりました。親や家族にはしっかり「検診を受けに行ってほしい」と言いたいと思いました。タバコと酒はあまり良くないことも伝えたいです。がんのことをもっと考えようと思いました。
- ◇ この勉強で、「今を大切に生きる」ということを学びました。「人は死んだら生き返らない。だから今を一生懸命生きる」ということで、毎日を大切に生きようと思いました。生命を守るために、小さなことでもコツコツと重ねていきたいです。みんなかけがえのない存在なので、人を大切にして、自分も大切にして生きていきたいです。
- ◇ 人生を精一杯生きて悔いのない人生にしようと思いました。まず、がん検診を呼びかけて、自分たちで簡単にできること、例えば、バランスの取れた食生活をしたり、お酒を飲み過ぎないようにしたいと思います。
- ◇ タバコは体に悪いと以前から知っていましたが、今日の話聞いてもっとよく分かりました。タバコや食生活に気をつけると少しは予防できると聞いたので、気をつけて生活したいと思いました。

- ◇ がんはとてつらくて怖い病気だと、改めて思いました。
- ◇ 講師の方が詳しくがんのことや予防のことを教えてくださいまして、がんの怖さを知りました。教えてもらったことを家族に伝えたいです。
- ◇ この話を聞いて、死んだら生き返らないので、早く病気を治そうと前向きになれました。家族や身近な人に「タバコやめた方がいいですよ」などと声をかけられたらと思います。
- ◇ 家族にはがん検診は絶対に行ってほしいです。少しでも早くがんが見つかる手術をして治るし、元気になってくれたら嬉しいから、がん検診には絶対に行かないといけないなと思いました。がん検診のお知らせがきたら、「行って～」と言って行ってもらいたいです。

◎中学校（6校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5月24日	精華町立精華南中学校	全校	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
5月26日	福知山市立大江中学校	3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
6月13日	京丹後市立丹後中学校	3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
6月20日	学校法人ヴィクトアール学園洛星中学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘
6月24日	八幡市立男山中学校	3	京都府山城北保健所 所長 和田 行雄
7月4日	精華町立精華中学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘

<生徒の感想>

- ◇ がんについてあまり深く考えたことはなかったけど、今回の講演で、がんとはどういうものか、どうやって予防するか、かかってもどうやって治療するかが分かりました。100%予防はできないけれど、日常的に規則正しい生活がおくれるように私もしたいし、周りの人にも呼びかけていきたいと思いました。少し難しかったけれど、がんについて学ぶ良い経験になりました。これから役に立つことだと思うので生かしていきたいです。
- ◇ がんのイメージと言えば、かかってしまえばもう後は死ぬしかないという感じただけだけど、今日の説明を聞いて、100%かからないことはないけれど予防は今からでもできるし、必ず死ぬとは限らないので、自分自身もしくは身近な誰かがなっても、安心できる言葉をかけてあげたいし、絶対がんには負けないように今のうちから予防していきたいと思った。
- ◇ 小学校の時に習った生活習慣病が、がんと関係しているなんて知らなかったのが驚きました。
- ◇ がんについてのあやふやなところが明確になって、すごく勉強になりました。
- ◇ 命は一つしかなく、命は自分だけのものではなく、私を育ててくれたたくさんの人のものだとこのことを感じ、大切にしていきたいと思いました。
- ◇ がん経験者の話がとても心に残りました。前を向いて生きていくことが大切だと改めて感じました。今の時間、そして家族や友達などを大切にしていきたいと思います。
- ◇ がんになっても恐れず、しっかり知って向き合うことが大切だと聞いて、もし家族ががんになったら、色々調べて一緒に戦おうと思いました。それで少しでも力になれば良いと思いました。

◎高等学校（1校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
6月9日	京都廣学館高等学校	1	京都府山城南保健所 所長 飯田 貴弥

<生徒の感想>

- ◇ 今回の話を聞いて、がんは自分の思っているほど怖いものではないと感じました。しかしそれは早期に発見できた時の場合であって、がん検診に行かずそのまま放置していれば死につながるし、手をつけることもできなくなるほど恐ろしいものになっていくことを知りました。両親にはとても感謝しているし、今ここにいるのも親のおかげだと思います。自分も将来がんや病気にかかりたくないので色々なことに十分気をつけ、たばこを吸わず生活していきたいです。
- ◇ 今日の授業はとても為になりました。このことをもっと深く考え、自分のため、そしてみんなのためにも広げていきたいと思います。
- ◇ 今日は改めて、一人一つしかない命を大切に使おうと思いました。今日の内容をしっかりと勉強して、楽しんで生きようと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : kentai@pref.kyoto.lg.jp